

令和7年度仁淀川清流保全推進協議会

第2回子どもたちを川に呼び戻すワーキング 要旨

日時：令和7年10月8日（水）10:00～12:00

場所：高知県立高知青少年の家 1階 会議室（吾川郡いの町天王北1丁目14番地）

出席者：7名

所属等：水生生物研究者、によど自然素材等活用研究会、株式会社相愛、NPO法人仁淀川お宝探偵団、仁淀の緑と清流を再生する会、事務局（高知県自然共生課）

1 議題

- (1) RAC川の安全教室の振り返りと今後の計画（協議）
- (2) 仁淀川ニュースレターについて（協議）
- (3) 情報発信の拡充について（協議）
- (4) その他

2 資料

資料1 RAC川の安全教室2025振り返りフィードバックシート

資料2 仁淀川ニュースレター（案）

資料3 新規SNSアカウント開設検討資料

3 主な協議内容

- ・【第1弾】RACアシスタントリーダー養成講座の振り返り
- ・ニュースレターvol.3の内容確認と今後の掲載内容について
- ・協議会の新規SNS開設案について

4 協議結果（今後の取組の方向性等）

- (1) RAC川の安全教室の振り返りと今後の計画について
 - ・資格者の活躍の場や実技の機会を増やすことを検討していく
- (2) 仁淀川ニュースレターについて
 - ・幅広い読者層に向け、専門用語の見直しや内容修正を行う
 - ・河川文化や自然保護に関する幅広いテーマを今後のニュースレターに盛り込むことを検討
- (3) 情報発信の拡充について
 - ・ターゲット層、運営負担、効果のバランスを検証したうえで、SNSアカウント開設については継続協議とする

【議題概要】

事務局	<p>【RAC川の安全教室の振り返りと今後の計画について】</p> <p>令和7年7月23日（水）・24日（木）に実施した【第1弾】RACアシスタントリーダー養成講座は、補助講師としてご協力いただいたワーキングメンバーのおかげでスムーズに進行でき、参加者も積極的に取り組んでくださり、有意義で学びの多い2日間となった。</p> <p>アンケート結果では、多くの参加者が次回の講座を楽しみにしてくださっていることが分かり、講座内容をさらに改善するために振り返りフィードバックシートを活用してブラッシュアップを進めたいと考えている。</p> <p>今回の講座を振り返り、準備段階から実施に至るまでの良かった点や改善点などがあれば挙げてほしい。</p> <p>→（意見）</p> <p>参加人数が集まるかどうか懸念点であったが、今年はたくさんの方に参加いただけたことは良かったと思う。</p> <p>→（意見）</p> <p>例年参加者募集に苦労していたが、今年は多くの参加者が集まった要因は何か。</p> <p>→（事務局）</p> <p>今年は仁淀川流域に限らず、対象範囲を広げて広報を行った結果、特に物部川流域からの参加者が増えたことが挙げられる。</p> <p>→（意見）</p> <p>この講座を実施する意義は、最終的に川での事故をなくすことにあると考える。アシスタントリーダーやリーダー資格を取得した人が資格を活用できる場を増やすことが今後の課題である。</p> <p>また、カヌーやサップの事業者は消防署などが実施する別の講座を受講している場合が多いが、この講座は異なる視点から知識を習得できるため、案内だけでも行うと良いと思う。</p> <p>→（座長）</p> <p>今後、仁淀川流域交流会議の各市町村にも声をかけてはどうか。</p> <p>また、実技は一度の講座受講だけでは定着しないため、資格者同士でコミュニティを作り、毎年1回集まって実践の機会を設けるなど、継続的に技術を磨ける仕組みができれば良いと思う。</p> <p>→（意見）</p> <p>座学にワークショップ形式を取り入れ、ディスカッションを活発化することで、現場での実践力をさらに高められるのではないかと。</p> <p>また、スライドについては、イラストではなく写真を使用することで、実際の視点に近い説明が可能となり、受講者がよりイメージを持ちやすくなると思う。</p>
事務局	<p>アシスタントリーダーやリーダー資格者の活躍の場を増やすことについて、例えばトレーナーのサポート付きでリーダーが講師の役割を担うことはできないか。</p> <p>→（意見）</p> <p>アシスタントリーダーやリーダー資格取得に関係する講座の場合、講師は上位資</p>

事務局	<p>格者である必要があると思う。詳細は RAC 事務局に確認が必要。一方、資格取得に関係ない講座であればリーダーが講師を務めることは可能であり、自己研鑽のための研修として実施する価値はあると考える。</p> <p>【仁淀川ニュースレターについて】 第3回のニュースレターの案を作成した。 1 ページ目は「【第1弾】 RAC アシスタントリーダー養成講座 活動レポート」を特集として掲載予定で、2 ページ目上段は 2025 年度上半期に実施した主な活動をダイジェスト形式で紹介し、中段は環境学習の取り組みを掲載予定。 ニュースレターに掲載すべき他の内容やレイアウトについての意見や次回のニュースレターの掲載内容に関するアイデアや案があればお願いしたい。</p> <p>→ (意見) 「RAC アシスタントリーダー養成講座 活動レポート」は、受講者が振り返りに活用するには良い内容だが、未受講者にとっては専門用語が多く、理解しにくい。 専門用語を避け、誰にでも分かりやすい表現に変更することが適当である。(例: 「RAC アシスタントリーダー養成講座」を「川を安全に遊ぶための講座」に変更など)。</p> <p>→ (座長) 現行案は「自分が川に落ちてしまった場合」の内容に偏っているため、「川に落ちた人を見つけたときの行動」についても記載すると良い。</p> <p>→ (意見) 掲示板への掲載内容については、地域(住民・市町村等)が主催するイベント等を掲載してはどうか。</p> <p>→ (事務局) 地域主催のイベント情報については仁淀川流域交流会議から情報を収集してみたいと思う。</p> <p>→ (意見) 河川利用のルール(ローカルルールなど)についての記事を今後のニュースレターのテーマとして検討してはどうか。</p> <p>→ (意見) 川で泳ぐ人向けだけでなく、仁淀川の文化財や地域の文化に触れる内容を盛り込むことで、幅広い読者層にアプローチできると思う。</p> <p>→ (座長) 山の保水機能や森林管理(水を作る山の仕事)に関する話題についても取り上げたら良いと思う。</p>
事務局	<p>【情報発信の拡充について】 現在は Facebook やホームページを中心に情報発信を行っているが、さらなる効果的な発信手段が必要と感じており、協議会の活動を広く発信するための新たな試みとして、新規 SNS アカウントの開設を検討している。特に、動画コンテンツを用いることで、視覚的で分かりやすく活動の魅力を伝え、幅広い層に届けることがで</p>

	<p>きると考えている。情報発信の強化に向けて、意見やアイデアをいただきたい。</p> <p>→（意見） 動画制作には手間がかかる上、月 1～2 回の投稿では他の情報に埋もれる可能性がある。また、運営にはマンパワーが必要であり、事務局の負担が大きくなりすぎないように慎重に判断すべき。</p> <p>→（意見） 難しく考えず、まずは試験的に運用してみたら良いと思う。特にInstagramは既存の Facebook と紐付けることで運営の手間を軽減できる。</p> <p>→（事務局） 川本来の生態系を取り戻すワーキングで予定している勉強会の動画や、それ以降に実施する川に関する研修動画は YouTube などを活用して配信したいと考えている。</p> <p>→（意見） 勉強会や研修動画について、内容によっては講師にアーカイブの期限を確認する必要がある。 高知県移住促進課のプロモーション事例を参考に、労力と効果のバランスを検討してはどうか。</p> <p>→（事務局） 今後、ターゲット層、運営負担、効果を検証したうえで、SNS アカウントの開設について引き続き協議を行うこととする。</p>
--	--

閉会